

青年主日  
説教

# 青年よ! アイデンティティを探せ

<創世記27:1~23>

金秉喆 牧師 (東京聖山キリスト教会)



アンデルセンの童話集をみると、醜いアヒルの話があります。大きな卵から生まれたあひるは普通のアヒルたちとは異なる姿をしていたという理由で、周りからいじめられます。最初は母親が慰めてくれますが、時間が経つにつれ、母親まで自分の子が消えてしまえばいいと思ってしまいます。これに傷ついたあひるは故郷を離れ、ある心優しいお婆さんの家で過ごすようになります。しかし、そこにいた猫と鶏のいじめに耐えられず、あひるは、結局また逃げてしまいます。寒くて寂しかった冬が過ぎ、春が来て、ある日、自分が空を飛ぶことができることに気がつきます。アヒルだとばかり思っていましたが、実は、他ならぬ美しい白鳥だったのです。そして、アヒルは白鳥の群れの中に入り、自由に空を飛び回りながら幸せに生きていくというお話です。結局、自分が誰であるかを知り、残りの人生を白鳥として生きたのです。

本文の内容はエサウとヤコブのアイデンティティの問題です。イサクが「あなたは誰なのか」と長男のエサウに聞くと「私は長男のエサウです。」と正確に答えています。しかし、ヤコブは、父が「あなたは誰なのか」という質問に自分がまるで長男のエサウかのように答えます。彼は自分がヤコブであるにもかかわらず、祝福、成功、物質、権勢、名譽の前で長男エサウの人生を生きていくことになります。

## 1. あなたは誰か

周りの人があなたに「あなたは誰なのか?」と問うならば、なんと答えるでしょうか。この質問は、究極的に人間のアイデンティティに対する質問です。私たちはこの答えを明確に告白しなければなりません。ヤコブが、エサウではなく堂々と自分自身で、またアヒルではなく白鳥のように、私たちも自分のアイデンティティを発見し、この世の中で堂々と生きていく必要があります。最近では青年たち(若者たち)が自分のアイデンティティをなくしたまま生きがちです。「私は神様の子供か」、「王のような祭司長か」、この地に充満してまたこの世を征服し、治めなければならない主役という事実を忘れないようお願いします。(創世記1:27-28節)

## 2. あなたの人生の目的は何か

この質問に対する答えを真剣に探してみてください。「私はなぜ生きているのか」、「私はなぜここにいるのか」、「私はな

ぜこの仕事をしているのか」、「私は今幸せだろうか、幸せならなぜ幸せなのか」、逆に、もし自分が不幸だと考えるなら私はなぜ不幸と考えるのか考えてみましょう。地球上のすべての物と生物は目的があって造られました。それなら人間はなぜ創造されたのでしょうか。聖書いわく、「わたしのために造ったこの民はわたしの栄誉を宣べ伝えよう」(イザヤ43:21)と書かれており、さらに「というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に栄光がとこしえにありますように。アーメン」(ローマ11:36)と書かれてあります。私たちは神様を賛美するために造られた存在なのです。賛美するということは「神様を喜ばせる」、「高める」、「栄光を捧げる」という意味です。これが私たち人間の生きがいにならなければなりません。

## 3. 人生の目標は何ですか?

これらの質問にも慎重に答えてみましょう。「私がやりたいことは何か」、「私はなぜその仕事をしようとするのか」、「果してそれが私の人生の本当の目標であるのか」、「自分は人生の目標を成して何をしようとするのか」、「私はなぜこれを人生の目標として立てたのか」人生の目的がない人には目標を立てるということはとても難しいことです。そのため、自分のアイデンティティを探して人生の目的を立て、その目的を実現するために目標が必要なのです。多くの人は、人生の目的を立てず、目標(夢、ビジョン)だけを立てます。しかし、自分が立てたその目標が達成されたとしても、人生には満たされない何かがあるのです。そして、その何かを満たすために、また新たな他のものを追求してしまいます。要するに人生の目標と言うのは、目的を達成するための手段に過ぎないのです。

青年のみなさん! 真なる人生の目標を立てられましたか。なぜ勉強し、就職し、結婚をしようとするのですか。これらすべてが成功するための一つの過程なのです。もしそう考えるならば、皆さんは目標をうまく立てられていないのです。皆さんのがどのような人生の目標を立てるかは人それぞれですが、明らかなことは、自分の人生の目標が神様を喜ばることであり、神様を高め、神様に栄光をささげることに、フォーカスを合わせられているなら、どのような目標であれ、貴重で、尊敬を受けるべき存在です。人生の目標とは、目的を実現するためのひとつ手段に過ぎないという事実を忘れないでください。

**在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。**



東京◆ホテル: 東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。

10名様~200名様の会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール: 200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャング・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月~2年、短期研修)

関西◆ほんご教室(新規開講・募集中) ◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャング)

| 税込             | 平日      | 休日      |
|----------------|---------|---------|
| シングル           | ¥6,700  | ¥6,200  |
| ツイン            | ¥10,500 | ¥9,800  |
| トリプル           | ¥13,500 | ¥12,600 |
| ※朝食¥200(宿泊者価格) |         |         |

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> \*会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

## アシュラム祈祷修養会開催 「真理によって自由になろう」主題に

去る5月21日（月）～22日（火）にかけて、同志社びわこリトリートセンターにて、関西地方会伝道部が主催する第47回アシュラム祈祷修養会が開かれ、96名が参加した。

今回は「真理によって自由になろう」という主題の下、大韓イエス教長老会釜山東老会長の鄭日世牧師を講師として招いて3回の講演を聞いた。

「信仰とは『捧げようとする』ものであり、自分が祝福を受けようとする思いから出てくるものではない。」「問題があるところに祈りが生まれる。そして神は、私たちが抱える問題自体ではなく、その問題のために祈る私たちを見られる。だから祈りは個人的な祈り、周辺や教会の祈りばかりではなく、より大きな問題のために捧げられなければならない」「教会の中で職分を任されて奉仕すれば、必ず批判を受ける。しかし恐れるな。イエスも嫌というほど批判を受けた。任された任務に忠誠であれ。人の批判をするのであれば、その職分を自分で受けでみよ」と鄭牧師は語り、出席者は大いに励まされ、悟らされた。また一泊二日の短い日程であったが、讃美があり、祈りがあり、またアシュラムの特徴である野外默想の時間が持たれた。恵みに満ち満ちた集会であり、一泊二日では短いので是非二泊にしてほしい、という要望が出るほどであった。

（報告：許伯基）



## 張慶泰牧師委任式挙行 船橋教会6代目牧師として赴任



2018年5月27日の午後船橋教会において、張慶泰牧師の委任式が行われた。臨時堂会長の金根湜牧師の司会で始まり、金君植名誉牧師による「良い羊飼いイエス」（ヨハネ10:10～12）という説教の後、関東地方会副会長の金秉喆牧師の司会により、委任誓約、祈祷、宣布が行われた。

船橋教会の第6代目担任牧師として委任された張慶泰牧師は1963年韓国で生まれ、1994年牧師接手を受け、大韓イエス教長老会から日本宣教師として派遣された。2007年から在日大韓基督教会に加入して仕えてきた。

### 大阪第一民宿【OSAKA STAY】

代表:鄭洪權長老／安姫子勧士（大阪教会）  
大阪市生野区中川西3-9-6（大阪教会近く）  
TEL 06-6777-7033／携帯090-8538-4433  
Kakao ID: ntip0033  
Email:osakastay@dune.ocn.ne.jp  
http://www.osaka-stay.net  
大阪市指令許可書11549号

## 李承厚牧師委任式挙行 京都東山教会に昨年赴任



去る2018年6月17日（主日）の午後、関西地方会の京都東山教会で李承厚牧師の委任式が行われた。

臨時堂会長の許伯基牧師の司会で行われた礼拝では、関西地方会の副会長林明基牧師が「愚問賢答」（マタイ7:24～27）という題の説教があった。

関西地方会長の朴成均牧師の司式により始まった牧師委任式には、誓約と祈祷、宣布が出された。総会長の金鐘賢牧師が勧勉をし、祝辞は日本基督教団洛陽教会から森下耕牧師が行った。

委任された李承厚牧師は、1972年韓国で生まれ、湖南神学大学校、長老会神学大学校神学大学院及び、教育大学院を卒業し、2002年牧師接手を受け、2015年に大韓イエス教長老会（統合）総会から宣教師として派遣された。

家族は夫人と2男1女がいる。

## 蔡銀淑牧師委任式挙行 大垣教会に溢れるほどの参席者集め



2018年6月17日、主日の午後、大垣教会において蔡銀淑牧師の委任式が挙行された。

中部地方会の各教会から、そしてハングル学校の仲間、近所の人々が大垣教会堂に入りきれないほど参席し、臨時堂会長の高誠牧師の司会のもと開会され、鄭守煥牧師の「土台はイエス・キリスト」（コリント13:9～11）という題目の説教が行われた。

牧師委任式は、中部地方会長の崔和植牧師の司式のもと、紹介、誓約、宣布の順に行われた。

この度、中部地方会から大垣教会の牧師に委任された蔡銀淑牧師は、1963年韓国で生まれ、誠信女子大学校と白石大学校神学大学院を卒業し、大韓イエス教長老会（大神）総会から宣教師として派遣された。

## 鄭且聲名誉長老召天 約40年間、教会の復興に大きな役割



去る2018年5月19日、大阪教会の鄭且聲名誉長老が召天され、大阪教会において葬儀が行われた。享年92歳。

故・鄭且聲長老は1926年韓国で生まれ、15歳の時に来日してから金徳成牧師より受洗、1979年に長老に昇立された。1997年に隠退するまで、長年大阪教会に仕えて来た。

豊かな味、豊かな心。



代表取締役 吳永錫（東京希望キリスト教会 長老）

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

# 第51回日本基督教団との宣教協力委員会を開催

去る6月4日(月)日本基督教団(以下UCCJ)と在日大韓基督教会(以下KCCJ)の第51回宣教協力委員会が東京早稲田のUCCJ会議室で行われた。

「両教会の宣教課題について一多様化する教会に向って」という主題をもって行われた今回の委員会には、UCCJから総会議長の石橋英雄牧師をはじめ11名、KCCJからは総会長の金鐘賢牧師外9名が参席した。

主題に沿っての発題には、UCCJの新任総幹事の秋山徹牧師が、KCCJは東京緑洲教会の郭京煥牧師が朝鮮族宣教に関する

報告や宣教課題を発題した。

1984年に締結された協約の「協約文」と「宣教協力指針」において時代の経過について文章や言葉の表現の変更を承認し、2018年度の「平和メッセージ」の草案について協議し、それの8月の機関誌に掲載することとした。



## 全国教会祈祷カレンダー

\*宣教委員会は今年、毎主日に全国の各教会のために祈りをささげる祈祷カレンダーを製作しました。共に祈りで結ばれましょう。祈った後は、その旨を伝えましょう。

在日大韓基督教会宣教委員会

### 7月に全国教会が祈祷する教会

- 1日：京都東山教会(李承厚牧師)、奈良教会(姜宇烈牧師)
- 8日：大阪北部教会(趙永哲牧師)、今福教会(朴愛仙牧師)
- 15日：大阪第一教会(宋南鉉牧師)、大阪平康教会(南鉉牧師)
- 22日：布施教会(全聖三牧師)、巽教会(李炳墉牧師)
- 29日：大阪教会(鄭然元牧師)、大阪築港教会(朴時永牧師)

## 公 告

関東地方会治理部判決への控訴に関する在日大韓基督教会治理委員会は、聖書と在日大韓基督教会憲法・規則・戒規・裁判規定に基づき、教会の聖性と秩序を維持するために、提出された証拠等に基づいて慎重な審議をした結果、以下のとおり判決する。

- |      |    |      |
|------|----|------|
| 李秀男  | 長老 | 停職5年 |
| 吳大錫  | 長老 | 停職3年 |
| 劉大根  | 長老 | 停職5年 |
| 村上春城 | 長老 | 停職5年 |
| 金涇準  | 長老 | 停職5年 |

2018年4月27日

在日大韓基督教会 治理委員長 鄭然元

## 公告 2018年度 牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試

在日大韓基督教会の「2017年度 牧師・伝道師考試及び宣教師加入考試」を以下のように実施します。神学考試委員会細則(<http://kccj.jp/archives/959>)及び宣教師加入考試請願書(<http://kccj.jp/archives/148>)をご参考ください。

一. 日 時：2018年9月17日(月・祝)

- オリエンテーション：9:00
- 筆記試験：9:30～17:00
- 面接：17:00～19:00

※但し、宣教師加入考試に応する者は、人事部面接を受けてから考試に臨むことになります。

二. 場 所：大阪KCC(在日韓国基督教会館)

〒544-0032 大阪市生野区中川西2-6-10 Tel 06-6731-6801

三. 考試科目

- 牧師・伝道師考試：①旧約聖書 ②新約聖書 ③旧約聖義 ④新約聖義 ⑤組織神学 ⑥教会史 ⑦憲法(総会憲法・総会規則・裁判規程等) ⑧KCCJ神学(在日同胞史、KCCJ史・KCCJ宣教理念)
- 宣教師加入考試：①憲法(総会憲法・総会規則・裁判規程等) ②面接

四. 提出書類(各正本2通)

- 牧師・伝道師考試：①考試請願書(総会様式) ②地方会長推薦書(総会様式) ③履歴書(総会様式) ④神学生研修会參加證明書(伝道師応試者) ⑤最終学校卒業證明書・卒業予定證明書 ⑥最終学校成績證明書(伝道師応

試者) ⑦世帯全員・転出者を含む住民票(韓国:家族關係證明書) ⑧写真2枚

- 宣教師加入考試：①宣教師加入請願書 ②牧師按手證明書 ③宣教師派遣・推薦状 ④宣教師後援約定書(宣教費等) ⑤日本宣教志望動機書 ⑥履歴書(総会様式) ⑦経歴證明書 ⑧総会加入理由書 ⑨最終学校卒業證明書 ⑩最終学校成績證明書 ⑪家族關係證明書 ⑫写真2枚(宣教師で既に提出済の方は不要です)

五. 期 限：2018年7月20日 必着

六. 考試料：牧師考試：2万円

伝道師考試：1万円

宣教師加入考試：1万円

※願書提出時に、総会の口座に送金すること

\*郵便振替口座：000130-9-159228(在日大韓基督教会)

※考試料・交通費は、応試者の所属する各教会と各機関で補助して下さい。

七. 提出先：総会事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-55

電話番号：(03) 3202-5398 FAX：(03) 3202-4977

2018年6月8日

総会長 金鐘賢

神学考試委員長 金武士

神学考試委員会書記 金承熙

# 世界教会協議会(WCC)アルーシャ宣教大会に参加して

横浜教会 厳智用



世界教会協議会 (The World Council of Churches: WCC) の「世界宣教伝道会議」(Conference of World Mission and Evangelism) が、タンザニア連合共和国、アルーシャにおいて、2018年3月8日から13日にかけて開催された。世界中から1,024人の参加者が集まり、243の加盟教会、152の提携団体、148の支援団体を代表する国際会議となつた。在日大韓基督教会からは京都南部教会の許伯基牧師、横浜教会青年の嚴智用が代表で参加し、日本キリスト教協議会(NCCJ)の総幹事の金性済牧師が参加した。

第14回目となる世界宣教伝道会議のテーマは「靈に導かれて進むこと—変革をもたらす主の弟子となることへの招き」で、宣教伝道、エキュメニカル、アフリカの文脈、若者の参加など、4つの特色を掲げた会議であった。開催地であるアフリカ大陸の文脈や聖靈の働きをキーワードにしつつ、主日を含め計6日間をかけて、共同声明の発表がなされた。声明文には、弟子となることの共通理解、様々な課題（戦争、強欲、周縁化、難民、環境破壊など、多数）における共通認識が記され、課題解決に向けて団結することが明記された。

会議の日常的なプログラムは祈祷と聖書研究から始まり、スピーチやパネルディスカッション、参加者同士の対話、正午の祈祷後に昼食、午後からはワークショップが行われた。午後4時からは、会場の外にあるアフリカ大陸の様々な商品を揃えた店舗や様々な社会課題を体験学習できるブースを巡り歩いた。夕方にはアフリカ大陸の文化交流や若者による催し物などの行事があり、午後9時半に一日が終わった。

主日は現地教会にて礼拝を行い、自身の教派とは異なる教会に参加する企画がなされた。初めから終わりまで参加者同士の対話や共同作業が行われるよう設計されており、様々な教団や教派が互いを理解し合う時間が豊富に持たれた。参加者はいつでも運営団体に声明への文章挿入や変更の意見を申し入れることができる。このような対話や相互理解を世界規模で実施し、一つの声明として発表したのが今回の世界宣教伝道会議だった。

オープニングスピーチを担った世界教会協議会のオラフ・トヴェイト総幹事は「これまでの伝道運動は多くの果実をもたらした。だが、世界は今もなお深刻な課題を抱えている。教会を始め、伝道者は自身の変革を希求し、力点を自分たちから隣人へと移す必要がある」と言及した。変革について、世界改革派教会共同体のナジェラ・アボウサワン会長は「聖靈によって変革が起きる。主の道を歩み、十字架を背負う。希望を持って生き、イエス・キリストの権能によって隣人に証しする。教会の壁を超えた伝道に取り組む」と発言した。

アフリカの文脈と周辺化について、アディ・ワクユア神学生は「イエス・キリストは当時自身が属する共同体の中で周辺の若者だった。(アフリカでの文脈を含め)これまで、キリスト教の伝道は植民地主義の色彩を帯びたものがあり、周辺の者は福音の受け手に過ぎず、彼ら自身を伝道者としては見る者はいなかった。本会議にも周辺の若者が集まっている。

彼らはここにおり、しっかりと声を上げている。彼らは世界宣教に大きな役割を持つ。」と伝えた。また、一際大きな拍手が送られたナフコット・デサレン神学生は「イエス・キリストを表す生活に励むこと。これから3年の間に12人の弟子づくりを目標として挑戦しよう」と述べ、宣教の緊急性と積極的な姿勢について強調した。

最終日は声明の最終的な調整に会議が白熱した。読み上げられた声明の草案について発言したい参加者は、持ち時間1分前後の中で思い思いの意見を述べた。参加者による意見は、神学的な用語は正から、環境破壊や移民・難民問題などの社会的課題の追加、特定のトピックが過度に強調されているなど、多種多様だった。約20名の発言が記録され、最終的な声明、「アルーシャ・コール」が採択された。

KCCJ総会を始め、青年を派遣するに当たり、ご支援とお祈りをして下さった皆様に深くお礼を申し上る。

開幕早々、世界改革派教会共同体のナジェラ・アボウサワン会長のスピーチ「私たちの神は生ける神です。新しい夢、想像力を持ち続けましょう」に心打たれた。宣教と伝道において、自身の受け身の姿勢や現状維持の思考回路を反省した。

何より衝撃を受けたのは、世界中から集まつた青年たちがそれぞれ「地域社会」の伝道に一生懸命であったことだ。ワークショップにて、彼らは「住民が必要としていること、最も課題と認識していること」、「住民にとって福音とは何か」、「伝道においてどういう障壁があり、どのようにアプローチすべきか」等の問い合わせをテーマに語り合っていた。住民を知るために、教会の近くでカフェを始めたり、毎回別の地区・番地でボランティアをしたり。自身が通う横浜教会が属する石川町について、人口程度しか知らない私は深く反省した。帰ってからはここで得た学びを必ず活かし、「地域社会」をテーマに糸口を探そうと決意した。

また、聖書研究の領域を広げようと決めた。今回、教派を越えた多くの意見交換の場で、聖書的に整合性があるのかどうか分からぬ発言が少なくなかった。教派間の多様性とキリスト教の本髄をしっかりと知りたいという気持ちを大切にし、聖書研究に励んで行きたい。

